

「防災ガイド・ハザードマップ2024」の発行について

区民に必要な情報を効果的に周知するため、防災情報やハザードマップを掲載した冊子の最新版「防災ガイド・ハザードマップ2024（「いたばし暮らしガイド2024」と合冊）を下記のとおり発行する。

記

1 掲載内容

【防災ガイド・ハザードマップ2024】

地震・水害・土砂災害への備え、情報の入手方法、各種ハザードマップ等

【いたばし暮らしガイド2024】

行政情報、地図情報、特集（区の事業・施設・観光スポット等）、

窓口・施設等のダイヤルガイド、医療機関情報等

2 前回との主な変更点（ハザードマップ関係）

（1）浸水深表示の配色変更（洪水、高潮）

浸水深表示の配色を国が ISO 等の基準や色覚障がいがある方への配慮を含め検討し、標準とした配色に準拠して変更しています（「色彩」から「濃淡」へ）。

※浸水想定区域の変更はありません。

【新】洪水ハザードマップ（荒川氾濫版）



浸水深は「色の濃淡」で区別

【旧】洪水ハザードマップ（荒川氾濫版）



浸水深は「色彩」で区別

(2) 土砂災害警戒区域の指定状況（解除・変更）

【変更箇所】

告示日	住所	区域番号	変更内容
令和4年11月18日	大門	K016	指定解除
	徳丸八丁目	K019、K020	指定解除
令和5年6月21日	赤塚八丁目、赤塚五丁目	K014	指定箇所の変更 (区域の縮小)

(3) 水位計等の表示について

以下の情報を新たに表示しています。

該当マップ	水位計	雨量計	水位観測所	ライブカメラ	アンダーパス
					
洪水（集中豪雨版）	○	○	—	○	○
洪水（荒川氾濫版）	—	—	○	○	—
洪水（荒川浸水継続時間版）	—	—	○	○	—
高潮	—	—	○	○	—
土砂災害	—	○	—	—	—

※アンダーパス

交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺より低くなっている道路のこと。大雨の際に冠水の危険性がある。

3 作成部数

350,000部

【内訳】区内世帯全戸配布 326,000部

転入者、窓口配布 24,000部

4 配布時期・方法（予定）

(1) 区内在住者 令和5年12月から 全戸配布（委託業者）

(2) 転入者 令和5年12月から 随時

戸籍住民課、区民事務所の窓口で配布